

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策について

～ 「新しい生活様式」を踏まえた学校での取組と家庭へのお願い ～

下関市PTA連合会・下関市立小・中学校長会・下関市教育委員会

国内外の感染状況を見据えると、新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められることが見込まれる状況です。一方、国の緊急事態宣言の解除を受けて、県をまたぐ人の移動を段階的に解除し、6月19日以降に全国解除となりました。

学校では、5月14日から再開し今日に至るまで、子供たちの健やかな学びと成長を持続するため、校内の感染拡大リスクを可能な限り低減した上で、教育活動を展開しています。

学校内での感染拡大を防ぐためには、何より外からウイルスを持ち込まないことが重要です。今後、教育活動を維持していくには、学校と家庭が連携して取り組んでいく必要があります。

学校が行っている主な感染症対策

◆ ウイルスを学校に持ち込まないために

- 登校及び始業時の健康観察

◆ 学校で集団感染させないために

- 流水と石けんによる手洗いの指導



手洗いは、感染症対策でもっとも効果的です。

- ① 外から教室に入るとき
- ② 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- ③ 給食の前後
- ④ トイレの後
- ⑤ 共有のものを触ったとき

- 咳エチケットの徹底

在校中は、原則マスクを着用するように指導します。



※ ただし、体育の授業、外遊び、運動部活動はその限りではない。

※ 登下校において、熱中症対策として、暑さ指数が高い場合や人と十分な距離を確保できる場合は、マスクを外す。

- 教室環境と換気

- ・ 教室では、座席を1m以上、可能な限り離し、常時換気を行う。
- ・ エアコン使用時は、部屋の対角線の窓を20cm程度開ける。
- ・ 給食の会食は、「机を向かい合わせにしない」、「会話を控える」など、飛沫を飛ばさないように指導する。

- 消毒

- ・ 子供たちが特に多く手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日1回以上消毒液を使用して清掃する。

令和2年6月16日までに文部科学省に報告があった146件のうち、家庭内感染は約73.3% (107例)、学校約1.4%、その他約2.7%、不明約22.6%だったとのことです。

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、御家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組に御協力をお願いします。

家庭に協力をお願いしたいこと

1 毎日の健康観察

- 毎日登校前に、お子様の検温と健康観察を必ず行う。

- ① 風邪の症状や高熱または微熱が続いている（解熱剤を飲み続けなければならない場合を含む。）場合
- ② 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合
特に、基礎疾患等のあるお子様は、①②の状態が続く場合、かかりつけ医または下関保健所等に電話連絡し、指示に従う。



- 発熱や風邪の症状がある場合は、自宅で休養させる。（出席停止扱い）
- お子様が無症状であっても、同居するその家族に発熱や風邪の症状がみられる場合には、自宅待機を検討する。（出席停止扱い）
- 登校しない場合は、学校に必ず連絡する。

2 手洗いの励行

- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬も可）

3 咳エチケットの徹底

- 咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。

4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まるときや外出する際は、次のことを気をつける。

◆ 「密閉」の回避・・・こまめな換気

気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度を目安に窓を開ける）、2方向（部屋の対角線）の窓を同時に開けて行う。

◆ 「密集」の回避・・・身体的距離の確保

飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保する。

◆ 「密接」の回避・・・マスクの着用

外出するときは、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。

室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



5 抵抗力・免疫力を高める

十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動を心がける。

御家庭で、仲の良い友人同士や家族間の行き来や家族の交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動ができなくなってしまうことがあります。

とくに会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」（QRコード）を参考にして工夫していただき、感染が広がらないように御配慮をお願いします。

